稲作ワンポイントアドバイス（No.9）

令和７年８月１２日
JA山口県長門統括本部
長門農林水産事務所農業部

斑点米カメムシ類が多く、8月6日に二度目の注意報が発令されました。

1　生育等の状況

	移植日	調査ほ場の出穂期の平均	
		今年	平年（過去５年）
コシヒカリ	5/9（平年5/9）	7/24	7/26
ひとめぼれ	5/19（平年5/18）	7/29	7/29
きぬむすめ	5/28（平年5/27）	8/15	8/15
あきだわら	6/1（平年5/31）	8/14	8/13

・葉いもちが発生しているほ場が増えています。
上位葉に発生しているほ場もあり、穂いもちへの進展が懸念されます。

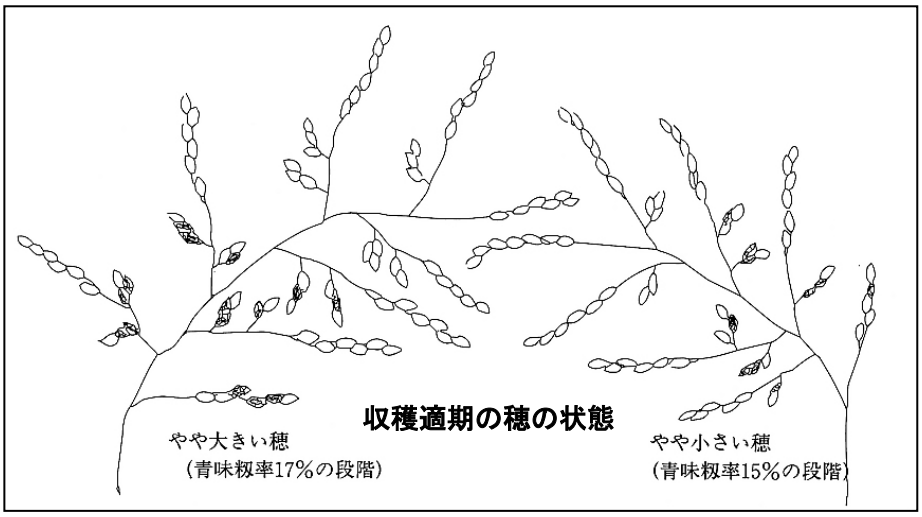
2　今後の管理のポイント

（１）コシヒカリ・ひとめぼれ

・出穂後高温が続いたため、収穫が平年より早まる可能性があります。
コンバインや乾燥調製施設等の準備は早めに行いましょう。

・品質低下を防ぐため、水利が可能ならば、収穫7日前まで間断かん水を行いましょう。

・青味籾率15～10%の時期に収穫を行いましょう。



（２）きぬむすめ・あきだわら

・カドミウム吸収抑制のため、湛水管理を行いましょう。



・葉色が急激に淡化し、かつ、いもち病斑がないあきだわらには、
出穂後10日までは積極的に追肥を行ってください。（実肥）

（３）病害虫の管理

病害虫発生予報（８月１日　山口県病害虫防除所発表）

穂いもち	やや少	セジロウンカ	少	コブノメイガ	やや少
紋枯病	やや少	トビイロウンカ	平年並	斑点米カメムシ類	多　注意報

・いもち病は穂揃期防除を確実に行い、天候不順が続く場合はその７～10日後に追加で防除を行いましょう。（収穫前日数に注意）
特にあきだわらはいもち病に弱いので注意が必要です。





・斑点米カメムシ類の注意報が発令されています。
穂揃期防除後にも斑点米カメムシ類が見られる場合は、穂揃期の７日後に追加防除をしてください。

◇斑点米カメムシ類写真



イネカメムシ



アカスジカスミカメ



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ

（４）その他

・こまめに水分と休憩を取り、熱中症を予防しましょう。
・強風が予想される場合は、株の脱水を防ぐため湛水しましょう。

長門の水稲の病害虫発生状況、生育状況等をLINEで発信中！